

1 事業概要

事務事業名		不妊治療費助成事業		課名	保健課	事業No.	139
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H18	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	分野別計画			飯田市版総合戦略			
法令・例規等				飯田市不妊治療費助成事業実施要綱			
				飯田市不育症治療費助成事業実施要綱			
事業目的	対象	・特定不妊治療（体外受精・顕微授精）又は不育症治療を受けている夫婦 ・不妊や不育症を心配している夫婦					
	意図	精神的・経済的負担の軽減					

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	特定不妊治療1回につき、その医療費（自己負担額）の半額（上限10万円）を、1年度あたり2回を限度として助成しました。 不妊や不育について心配のある方が、治療の有無に関わらず気軽に相談できる専門家による相談日を月2回開設しました。 市内の病院で特定不妊治療が開始され、治療のための通院しやすい環境づくりが進んできました。		特定不妊治療費助成補助金				9,832	
			専門相談員謝礼（20回分）				80	
			チラシ用消耗品費（用紙、リソグラフィック代）				1	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	不妊治療費助成申請件数	件	84	92	113			
	不妊・不育相談日の開設日数	日	5	21	20			
30年度 決算 (千円)	予算額	10,286	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	9,913						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	9,913							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	2	17	1	10,286	9,913	不妊治療費助成事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・不妊や不育を心配している夫婦の精神的な不安と経済的な負担の軽減につながりました。
上記の課題解決のための有効策	・治療費の助成制度や不妊に関する正しい知識について周知します。
次年度に向けての取り組み	・引き続き、治療費の助成及び相談日の開設により精神的・経済的負担の軽減を図っていきます。 ・広報いいだに「不妊の悩みを支えられる社会へ」の特集を掲載し、治療のための通院しやすい環境づくりのためにも知識の啓発を図っていきます。